

『動労を脱退しろ』

どんづまりの『本部オルグ』団 展望なき『オルグ』を再開！



79.7.7
No.166
国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八(動力車会館)
鉄電二三五八〇九(公衆電話)22七二〇七

動労千葉 各支部 勝利の確信もかたく逆オルグ

「本部」革マル集団による動労千葉破壊「オルグ」が七月一日よりまた再開されている。しかし、再開された破壊「オルグ」は、各支部役員・活動家・組合員の毅然たる対応としんせつな逆オルグとによって、早々に逃げ帰ってしまおうという全く腰の入らないものである。6・28蘇我支部結成をもって佐倉・銚子支部の早期結成にむけ、一丸となって前進しよう。

われわれの着実な前進の前に「本部」なしくずしの方針転換

約一ヶ月ぶりに発行された「動力車新聞」号外(その20く22)で明らかのように、動労「本部」革マル反動集団は、自らのしつような妨害策動と強い願望にもかかわらず、わが動労千葉が、六月一五日に公労委の認知をかちとり、六月二〇日には、三六協定の締結をし、さらに、六月二八日、蘇我支部結成、七月一日、二四協定締結と着実に前進している事実の前に、「組合費請求訴訟を起こす」「会館の明渡しも裁判で」と、われわれを脅迫すると同時に公然と権力にすがりついでても動労千葉破壊をなしとげようとしている。さらに「総連合構想」の動きが「依然として存在している」あるいは、蘇我支部組合員向けの「結論を出すのはまだ早い」なる表現に見られる受け身の全く自信のない消耗感にみちみちた論理を展開し、はては、「本部側につく支部や組合員がないからといって……成果主義におちいってはならない」などと三ヶ月間にわたる千葉破壊策動が完全に失敗し、「全く成果が上っていない」ことを自ら認めているのである。

このように、「全国大会までに千葉再建」をなんとしてもデッチ上げようとあせる「本部」革マル反動集団は、なりふりかまわず裁判所へ権力にすがりつき、一方では、全国的な動揺と激動化をなにかなんでもくいとめ、自らの失敗とあやまりを押しかくすためになしくずしの方針「転換」を行なっている。

われわれは、この三ヶ月の闘いの勝利に自信と確認をもち、八月動労熊本大会にむけ全国的な流動化をさらに押し進め、「本部」革マル反動集団をさらに追いつめ、動労大改革を一層推進しようではないか。

そして、現在、矢継ぎ早にかけられている七万四千人合理化を中心とする国鉄「再建」攻撃と対決する動労運動の再構築にむけて、全国の動労組合員と共に前進しようではないか。

全く腰の入らぬ「本部オルグ」団！

「東京サミットをひかえ、権力の弾圧体制と動労に対する組織破壊を狙った謀略弾圧攻撃の集中」を理由に六月二四日以降一時中止していた「本部」革マル反動集団による動労千葉破壊「オルグ」は、七月一日より再開された。しかし、「本部」のなしくずしの方針「転換」の下で、全国からかり集められた強制動員者は、「本部」がい

7/14・15 県平和友好祭典へ
★ 一の宮海岸、海の家
外房線一の宮駅下車
★ 7月14日16時より7月15日10時まで
★ 主催 千葉県労連青年・婦人協、社会党
★ 集合 7月14日16時 一の宮駅前
青年部員諸君!! ぞびて参加を!!
詳しくは、動労千葉青年部常任委員会にお問い合わせ下さい。